

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月8日

上場会社名 ニチバン株式会社

上場取引所 東大

コード番号 4218 URL <http://www.nichiban.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 直人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理部 部長 (氏名) 酒井 寛規

TEL 03-5978-5601

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	27,959	△5.5	1,248	16.8	1,271	18.1	854	45.7
21年3月期第3四半期	29,596	—	1,068	—	1,076	—	586	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	20.62	—
21年3月期第3四半期	14.15	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	43,362	22,797	52.6	549.88
21年3月期	42,797	22,150	51.8	534.24

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 22,797百万円 21年3月期 22,150百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,300	△1.1	1,550	14.9	1,550	10.2	850	12.2	20.50

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 41,476,012株 21年3月期 41,476,012株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 17,302株 21年3月期 15,138株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 41,460,025株 21年3月期第3四半期 41,462,097株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.上記予想は本資料の作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

上記の業績予想に関する事項は3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(9ヶ月)におけるわが国経済は、秋以降自動車や家電等の一部業界に回復の兆しが見えるものの本格的な回復には至らず、経済環境の先行きについては依然として不透明な状況となっております。

このような経済状況のもと、当グループではメディカル事業部、テープ事業部に設定した『事業フィールド』単位の事業戦略を基本に、主力製品の販促活動、新製品の上市と育成により売上拡大を図るとともに、製造、仕入、管理等のコストの徹底的な削減による利益確保に取組みました。その結果、売上高は前第3四半期連結累計期間比5.5%減の279億5千9百万円と減収となりましたが、経常利益は前第3四半期連結累計期間比18.1%増の12億7千1百万円、四半期純利益は前第3四半期連結累計期間比45.7%増の8億5千4百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億6千4百万円増加し、433億6千2百万円となりました。また、利益剰余金が6億6百万円増加し、純資産は227億9千7百万円となりました。

## キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べ1億4千万円減少し、73億3千万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前第3四半期連結累計期間に比べ5億3千6百万円増加し、18億7千万円となりました。これは税金等調整前四半期純利益、棚卸資産の減少額等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前第3四半期連結累計期間に比べ3億4千6百万円増加し、14億2百万円となりました。これは主に有形固定資産の購入等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前第3四半期連結累計期間に比べ2億7千2百万円増加し、6億1千1百万円となりました。これは主に長期借入金の返済、配当金の支払等によるものです。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(9ヶ月)における業績は、売上高については予想を下回る水準となっているものの、利益面につきましてはコスト削減施策の効果等により、当初の予想を上回る利益を上げることができました。今後の経営環境につきましては、引続き厳しい情勢が続くものと思われまます。

このような経営環境のなか、当グループは今後も、メディカル事業部、テープ事業部に設定した『事業フィールド』単位の事業戦略遂行による売上拡大と利益確保にグループを挙げて取り組んでまいります。

以上により、現時点におきましては平成21年11月9日に公表いたしました通期の連結業績予想から修正は行っておりません。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

(一般債権の貸倒見積高の算定方法)

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(たな卸資産の評価方法)

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し前連結会計年度に係る実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,437	7,470
受取手形及び売掛金	12,623	11,641
有価証券	505	504
商品及び製品	2,995	3,313
仕掛品	1,326	1,337
原材料及び貯蔵品	1,147	1,081
その他	1,024	863
貸倒引当金	△22	△20
流動資産合計	27,037	26,193
固定資産		
有形固定資産	11,851	12,021
無形固定資産	40	66
投資その他の資産	4,433	4,516
固定資産合計	16,325	16,604
資産合計	43,362	42,797
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,112	6,742
1年内返済予定の長期借入金	—	300
未払法人税等	315	246
賞与引当金	504	—
役員賞与引当金	41	44
その他	2,721	3,857
流動負債合計	10,695	11,190
固定負債		
長期借入金	2,000	2,000
退職給付引当金	4,520	4,123
役員退職慰労引当金	228	268
長期預り保証金	2,706	2,687
その他	414	377
固定負債合計	9,869	9,457
負債合計	20,565	20,647

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,451	5,451
資本剰余金	4,186	4,186
利益剰余金	13,268	12,662
自己株式	△6	△5
株主資本合計	22,901	22,295
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	68	44
為替換算調整勘定	△171	△189
評価・換算差額等合計	△103	△145
純資産合計	22,797	22,150
負債純資産合計	43,362	42,797

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	29,596	27,959
売上原価	21,657	20,141
売上総利益	7,939	7,818
販売費及び一般管理費	6,870	6,570
営業利益	1,068	1,248
営業外収益		
受取利息	20	8
受取配当金	18	7
持分法による投資利益	73	75
その他	40	26
営業外収益合計	152	117
営業外費用		
支払利息	78	48
支払手数料	—	31
為替差損	36	1
その他	29	12
営業外費用合計	144	94
経常利益	1,076	1,271
特別利益		
固定資産売却益	1	2
受取補償金	30	158
その他	0	—
特別利益合計	32	160
特別損失		
たな卸資産評価損	113	—
固定資産除売却損	18	44
その他	0	—
特別損失合計	131	44
税金等調整前四半期純利益	977	1,387
法人税等	390	532
四半期純利益	586	854

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	977	1,387
減価償却費	1,128	1,234
退職給付引当金の増減額(△は減少)	436	396
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△78	△39
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	△20
有形固定資産除売却損益(△は益)	15	37
受取利息及び受取配当金	△39	△16
支払利息	78	48
売上債権の増減額(△は増加)	△351	△981
たな卸資産の増減額(△は増加)	△278	263
仕入債務の増減額(△は減少)	179	369
その他	△312	△320
小計	1,751	2,359
利息及び配当金の受取額	39	16
利息の支払額	△83	△55
法人税等の支払額	△373	△448
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,334	1,870
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△303	△412
定期預金の払戻による収入	218	303
有価証券の取得による支出	△39	△1
有価証券の売却による収入	8	—
有形固定資産の取得による支出	△857	△1,388
その他	△83	95
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,056	△1,402
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	860	—
長期借入金の返済による支出	△950	△300
配当金の支払額	△248	△248
その他	△0	△63
財務活動によるキャッシュ・フロー	△339	△611
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△74	△140
現金及び現金同等物の期首残高	8,690	7,471
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,615	7,330

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	メディカル事業部 (百万円)	テープ事業部 (百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	8,934	20,661	29,596	—	29,596
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	34	60	95	(95)	—
計	8,969	20,722	29,691	(95)	29,596
営業利益	1,916	1,290	3,206	(2,138)	1,068

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	メディカル事業部 (百万円)	テープ事業部 (百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	8,783	19,175	27,959	—	27,959
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	31	49	81	(81)	—
計	8,815	19,225	28,040	(81)	27,959
営業利益	1,898	1,501	3,399	(2,151)	1,248

(注) 1. 事業区分は、当社の事業戦略単位である事業部(組織)を基本として区分しております。

2. 各事業部の主な製品及び商品

(1) メディカル事業部……スピール膏※・ロイヒつぼ膏※・ケアリーヴ※

(2) テープ事業部……セロテープ※・クラフトテープ・布テープ・ナイスタック※・たばねら※テープ

※は登録商標を示しております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所存する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。